

授業科目名	コンサルテーションⅠ <i>Consultation in Nursing Practice I</i>					担当教員	高橋 清美				
開講年次	1年後期	セメスター	2			時間数(単位数)	15(1)				
必修選択	選択	授業形態	講義			使用教室					
授業の目的	看護職を含むケア提供者が抱えている問題を解決するのを助けるためのコンサルテーションに必要な基本的知識を修得する。										
到達目標	1. コンサルテーション論の理論的背景や定義、コンサルタントの役割について理解する。 2. コンサルテーション論に基づき、コンサルテーションのタイプやモデル、プロセスについて学ぶ。 3. 事例を用いて、コンサルテーションの実際を実践的に理解する。										
DPとの関連	DP1	DP2	DP3	DP4	DP5	DP6 (保健)	DP6 (CNS)	DP7 (CNS)	DP6 (助産)	DP7 (助産)	DP8 (助産)
	○				◎						
授業計画	1回 コンサルテーション概論①(講義) コンサルテーション論の背景を学び、コンサルテーションの定義やコンサルタントの役割について理解する。 2回 コンサルテーション概論②(講義) コンサルテーションの定義、タイプ、モデル、プロセス、コンサルタントの役割について理解する。 3回 コンサルテーション概論③(講義) コンサルテーションとスーパービジョンの違いについて理解する。 4回 コンサルテーション概論④(講義) コンサルテーションのプロセスについて理解する。 5回 コンサルテーションの実際①(講義、ディスカッション) 「コンサルティ中心」・「クライアント中心」のケースコンサルテーション事例を通して、コンサルテーションプロセス、コンサルタントの役割について理解を深める。 6回 コンサルテーションの実際②(講義、ディスカッション) 「プログラム中心」・「クライアント中心の管理コンサルテーション」の事例を通して、コンサルテーションプロセス、コンサルタントの役割について理解を深める。 7回 コンサルテーションの実際③(講義、グループ討議) 「課題適応型コンサルテーション」、「プロセス適応型コンサルテーション」の違いについて理解する。 8回 まとめ 講義、ディスカッションを通しての学びをプレゼンテーションし、共有することで、学びを深める。										
学習方法	講義を通して、コンサルテーションの基本的知識を理解する。事例を通して、コンサルテーションタイプ、モデル、プロセス、コンサルタントの役割について理解する。										
オフィスアワー	金曜日の昼休み、もしくはメールにてアポイントをとってください 高橋：k-takahashi@jrckicn.ac.jp										
テキスト	川野雅資：コンサルテーションを学ぶ、東京、クオリティケア、2013.										
参考文献	適宜紹介します										
評価方法	ディスカッションへの参加度(60%) プレゼンテーション(40%)										